

取組の目的・概要・効果・特徴

取組全体の目的・概要：本事業は、避難指示解除後の富岡町において、コミュニティを再構築し、多世代が交流できる住民主体の居場所を創出することを目的とする。町では子育て世帯の帰還・定住が進む一方、PTAや保護者会、地縁組織等の仕組みが十分でなく、保護者同士や地域とのつながりが生まれにくい状況にある。

そこで「とみおかこども食堂」を定期的を開催し、食事を通じた自然な交流により情報交換や関係構築を促進する。あわせて、運営に関わる住民の役割や生きがいづくりにもつなげることで、孤立の防止と多世代が支え合うコミュニティの再生を図る。

取組の効果・特徴：2020年から実施する「とみおかこども食堂」は、1回40～45人が参加し、地域住民が調理や見守りを担うことで、参加者と支える側双方の生きがいづくりにつながっている。運営サポーターが主体的に関わることで、継続的な関係性が育まれている。

また、食事を通じた交流により、子育て世帯の情報交換や不安軽減、孤立防止に寄与している。さらに、季節行事を通じて多世代交流や地域文化の継承を促進する。

加えて、特別支援のニーズを持つ子育て世帯を対象とした「とみおかこども食堂特別企画-にじいろ食堂-」を実施し、専門機関と連携した心のケアと安心して参加できる居場所づくりに取り組む。

取組内容

【事業名：住民主体による「とみおかこども食堂」の運営】 （実施主体：とみおかこども食堂実行委員）

① とみおかこども食堂

全9回、TSCとみおかにて実施予定。調理・食事・子どもの見守りを通じた交流をおこなう。

② にじいろ食堂

全4回、町内施設にて実施予定。特別支援ニーズを対象にした居場所、交流の場を創出。

③ 季節イベント

8月・1月の2回、町内にて実施予定。盆踊り練習・もちつき交流会を通じて世代間交流を促進する。



【事業名：サポーターコミュニティ活性事業】 （実施主体：とみおかこども食堂実行委員会）

④ 運営サポーター交流会・ワークショップ

年2回、町内にて実施予定。サポーター同士の関係構築と意見交換の機会を設けることで、活動への主体性と継続意欲を高める。



次年度以降の展開

- こども食堂を継続実施し、地域の交流拠点として定着を図る
- 運営サポーターの育成・拡充により、住民主体の運営体制を強化
- 関係機関との連携を深め、地域全体で子育てを支える仕組みへ発展